



# 知覧小だより

学校 HP : [http://minamikyushu-city.hs.plala.or.jp/chiran\\_es/](http://minamikyushu-city.hs.plala.or.jp/chiran_es/)



## みんな元気に 3学期がスタート!

校長 喜岡 達也

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
平成最後の年、平成31年、2019年を迎え、3学期がスタートしました。  
昨年は、知覧小学校「創立150周年」の記念すべき大きな節目となる年でした。  
これからさらに飛躍していけるよう、教職員一同頑張って参ります。  
この冬休み中、子どもたちに大きな病気やけがもなく、元気に始業式を迎えられたことを大変うれしく思っています。1月8日の始業式では、子どもたちに次のような話をしました。



- ・ 思いやるのある言動であふれる学校にしよう。
- ・ 明るいあいさつ「先・大・見・笑」が飛び交う学校にしよう。

子どもたちは真剣な表情で、しっかりとした態度で聴いてくれました。

3学期は一番短い学期（出席日数：1・2・3・6年生が54日、4・5年生が55日）です。そして、3学期は学年のまとめをする学期、進学・進級の準備をする学期です。子どもたちが落ち着いて充実した学校生活を送れるように配慮していきたいと思ひます。3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 目標を達成するためには



3学期も始まって2週間あまり過ぎました。各学級には、子供たち一人一人の「3学期の目標」が掲示されています。例えば、「早寝早起きをする」「手をあげて発表をする」「さか上がりができるようになる」などです。家庭でも、ぜひ、「どんな目標を立てたの?」

と話題にしてみてください。

そして、その目標を達成するためには、次の2つのことが大切だと考えます。

1つは、実際にどのような行動をしたらよいか具体的に考えて取り組んでいくということです。例えば、「さか上がりができるようになる」ならば、具体的には「毎朝、学校で、10回練習する」など、チェックしやすい数値的なものを決めることです。

もう一つは、お子さんが目標に向かって頑張る様子を、ご家族のみなさんが励まし、応援するということです。それが子供にとっての大きな意欲付けになると思ひます。どうぞ温かい声かけをよろしくお願ひします。

私たち教職員も、3月の卒業式や終業式の日には、全ての子供たちが目標を達成して、次の学校や学年に向けて自信を持って臨むことができるよう、精一杯支援していきたいと思ひます。

### 2月の主な行事

2日 (土)	ちらん二日市 金管バンド出演
3日 (日)	維新未来博 (県民交流センター：4～6年生ビデオ出演)
6日 (水)	子ども貯金日 食に関する指導 (2年生)
9日 (土)	授業参観 (全学年) 4年生「二分の一成人式」 家庭教育学級
13日 (水)	新一年生一日入学 学校評議員会
14日 (木)	「ゆずり葉読書会」読み聞かせ
15日 (金)	「ゆめさと隊」読み聞かせ
19日 (火)	移動図書館車来校 (13:00～)
22日 (金)	児童総会 「よしながこうたくライブペイント」
24日 (日)	知覧地区音楽祭 (午後)
26日 (火)	卒業式練習

「給食番長」などで有名な絵本作家のよしながこうたくさんが来校して、お話や「ライブペイント」をしていただきます。3・4年生が参加します。今からワクワク・ドキドキ。楽しみですね。



# 餅つき大会

～5年生が自分たちで育てた餅米です～

1月12日（土）の土曜授業の日に、5年生の餅つき大会が行われました。

6月の田植えから、草取り、稲刈りなど地域の方や保護者の皆様にたくさんのご協力をいただき、これで米作りの全工程を無事に終了することができました。

当日も、保護者や市の食生活改善推進員の方々がたくさん来ていただきました。

杵をもって石臼で餅をつく体験が初めてという子供も多く、恐る恐る杵を振り下ろす姿が印象的でした。

そして、小さく丸めた餅を早速「きな粉餅」「あんこ餅」にしたり、「お雑煮」に入れたりして食べました。

つきたての餅は軟らかく、みんなでおいしくいただきました。お雑煮の出汁もとてもいい味でした。みんなの笑顔があふれる餅つき大会でした。



# 自分の命は自分で守る

～火災避難訓練～

1月15日（火）に避難訓練を行いました。今回は授業中に給湯室から火災が起こったという想定で、各教室からの避難経路を確認しながら、校庭に避難しました。全員が合い言葉の「お・か・し・も（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）」を守って素早く避難することができました。避難後は、避難するときの注意や消火器の扱い方について南九州消防署の方のお話を聞き、災害時の対応について学びました。

また、この日は「消防車」と「工作車」についても紹介してもらいました。特に「工作車」で実際に人を救助する場面も見せてもらい、子供たちは消防士の仕事についても学ぶことができました。



昨年は1年を表す漢字が「災」であったように、地震や洪水等災害が多い年でした。今年は災害がない年になってほしいものですが、万一の場合に備えて、ご家庭でも災害時の避難の仕方について話し合っておくことも大事だと思います。

明治維新150周年記念プロジェクト

# 維新未来博

へのビデオメッセージを作成しました。



お茶むらいも来てくれました！

2月3日（日）に、鹿児島市の県民交流センターで開催される「維新未来博」のオープニングで、子供たちが50年後の未来へメッセージを送るというコーナーがあります。それに知覧小の4～6年生が出演することになり、先日ビデオ撮影が行われました。ちょっと緊張しながらも、「平和の町知覧から、50年後を平和で明るい世界にするためにがんばります！」というメッセージを全員で元気よく届けることができました。当日、多くの人に伝わればいいなと思っています。

詳しくは、こちらから検索してください。  
<https://kagoshima-ishin.com/>

# 歩育のすすめ

「歩育（ほいく）」という言葉をご存知ですか？歩育とは歩くことで、子どもたちの心や身体を育み生きていく力をつける取組のことです。

そういう意味では、登下校に歩くということはいろいろなメリットがあると考えられます。例えば、

○ 脚力・体力の育成（1日1km→1年間で200km→6年間で1200km）

○ 体を動かすことで脳が目覚め活性化（学力向上）

○ 自然への気づき（感性豊かな心）

○ 人間・友達関係作り（地域の人、異年齢の子供との関わり）などです。もちろん、天候、子供の安全、家庭の事情等で車での送迎をされることもあると思います。その際でも、学校敷地の中まで車を入れるよりは、安全なところで降ろして、少しでも歩かせるということでもよいのかと思います。

また、学校敷地の駐車場で、送迎の車と車、車と児童が接触しそうなというヒヤッとする場面も見受けられます。

ほとんどの学級PTAの努力点にも「歩いて登下校」が掲げられていますので、ぜひ「歩育」についてご家族で考えていただけたら有り難いです。



▲寒さに負けず元気に登校